

ロマンスカーミュージアムに行ってみて

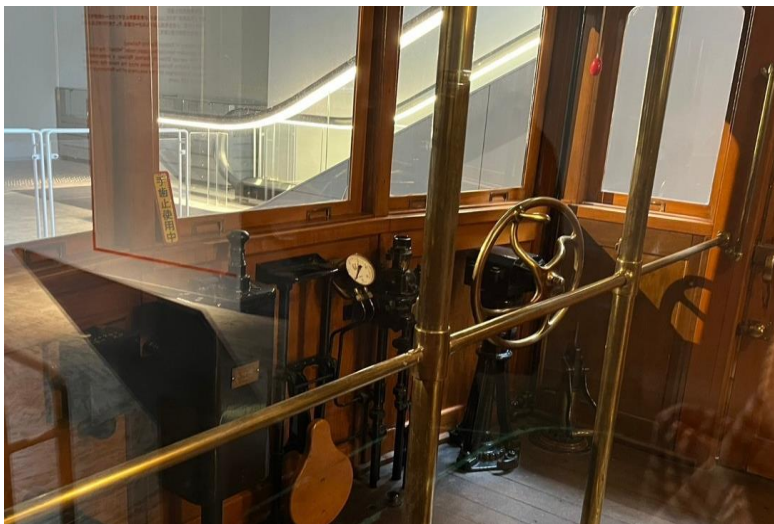


中等 R. Y



小田急電鉄は小田原急行鉄道（1923年5月）からはじまりました。

写真の車両は大正から昭和に移った時期に作られたとても貴重なものです。現在の電車に比べると車体は小さいですが、木材を中心にした車内は一つ一つの



作りが、とても高級感を感じられます。運転席も現在とはまったく違い、とてもシンプルですが逆にそれがお洒落で趣があり古き良き時代を感じる事ができます。

## 7000形 LSE



少し前のロマンスカーになります。現在のスライドドアと違い内開きドアになっているのと、座席のテーブルがむき

出しになっており座席でタバコが吸えるように灰皿も付いているのが今では考えられません。



荷物置きは簡易な作りになってます。



## 20000形 RSE

前のロマンスカーより新しい車両で1991年から2012年まで走行していました。時代が変わり車内は禁煙に

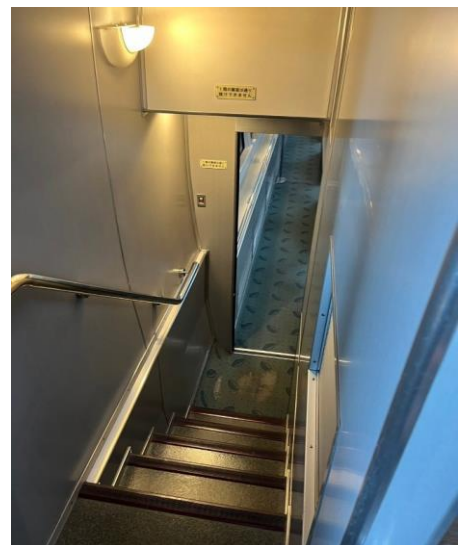


な  
す。

そして、2階建て車両の1階部分是个室になっており向かい合わせ



シートとテーブルが置いてあり、その近くにはゴルフバック置き場も設置しており充実した作り的高级志向になっているのが特徴的です





新宿から箱根の芦ノ湖遊覧船まで続く壮大なジオラマが展示されています。間の駅にあるドラえもんミュージアムや特徴的な建物の片瀬江ノ島駅、そして水族館、その近くを走る江ノ島電鉄の踏切にはスラムダンクの小さいフィギアがありとても楽しめるものとなっ



ています。  
長くいると昼から夜へ、そして深夜から明け方になる新たな始まりを感じさせるパフォーマンスは近代的な映像で盛り上げてくれます。